



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 50 号
2015年1月20日
編集兼発行人
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



「雪の好文亭」

撮影者：横須賀 元也
撮影日：平成 26 年 2 月 8 日
カメラ：Canon PowerShot SX150 IS
シャッター速度：オート 絞り：オート
場所：水戸市 偕楽園
撮影余話：当日は前夜から雪が降り続いていたが車は走れそうだったので、家から車で15分ぐらいの距離の偕楽園本園と、その下にある偕楽園公園で写した中の一枚である。以前はキャノンの一眼レフを使っていたが、今はコンパクトデジカメでもちゃんとした写真になるので、数年前から愛用している。雪の偕楽園は平成22年に梅が咲いている時に写してから2回目である。双方とも小生のホームページ「イバイチの旅のつれづれ」に他の多くの写真とともに載せてある。

新年を迎えて



新しい時代に対応して

支部長 久野 勝邦

明けましておめでとうございます。昨年末の衆議院総選挙の結果をみると、日本の流れも安定しつつあるようにみえます。これからは更なる積極的な政策によって、日本が発展する方向に向かうことを願っています。

昨年は、当社と三菱重工との合弁会社が設立されて、日立事業所の大部分が新会社に移りました。幸い、残された日立事業所並びに県内各事業所のご支援の下、現在は我々茨城支部も、ほぼ従来の状態のままで順調に運営しています。今年も、現在の同好会本部建屋の老朽化に伴い、今後はどこに拠点を移すかについて検討していきたいと考えています。

日立社友クラブ茨城支部の皆様方には、現役の時代に活躍し、退職後も各種同好会に参加し、種々活躍しておられる方が多く、三か月に一度発行される「茨城支部便り」も読み応えのある素晴らしいものになっています。

今後は、少子高齢化の下で、地方を元気づける地方創生策が、政府レベルで検討されています。地方創生策としては、単に政府レベルで考えただけでは無理であり、「自然学」(科学技術)そして「経済学」の知見が重要です。茨城地域を活性化させるための多方面への方策案を、我々の知恵で創り出せればこれに優るものはないと思います。

今後、社友クラブの皆様方は健康に留意し、余生を楽しむだけではなく、社会のために何ができるのかを考えながら生きていきたいものです。

最後に、皆様並びにご家族の方々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

茨城支部からのお知らせ

第 64-1 回 日立社友クラブ理事会報告

開催日：平成 26 年 12 月 11 日(木)

議 事：新入会員 95 名、物故者・辞退者 64 名で会員総数は 6,350 名となった。第 64 回定時総会が 10 月 3 日ホテルニューオータニで開催され、過去最高の 1,010 名が出席された。茨城支部便り第 49 号が紹介され、好評であった。日立家電品ご愛用感謝特別セールの実績報告があり、日立 0B の社販購入金額が 13 億円を越え、お礼の言葉があった。

平成 26 年 12 月 茨城支部役員会報告

開催日：平成 26 年 12 月 12 日(金)

議 事：新入会員候補 16 名の入会が承認され、会員総数は 1,095 名になった。茨城支部では、若手会員の入会を重点的に推進しており、皆様からも 0B 会等で入会勧誘をお願いします。

茨城支部総会のご案内

平成 27 年度第 113 回茨城支部総会の開催を以下に予定しています。一年ぶりに皆様との語らいを楽しみに、多数のご参加をお待ち申し上げます。

1. 期日：平成 27 年 5 月 22 日(金) 11:10~14:30
2. 会場：ホテル天地閣

★詳細内容は別途後報致します。

空を切る刃先音に魅せられて

《居合道二十年》

高橋 昌也



「シニツ」これは日本刀を切り下ろした瞬間刃先が大気をつんざくとき発する音である。二十年前にこの

音に魅せられて、夢想神伝流居合道に入門し、現在全日本剣道連盟段位六段、称号錬士が授与されている。そして毎週二回道場に通い汗を流している。参考までに全日本剣道連盟（剣道、居合道、杖道で構成）での段位、称号は次のように規定されている。習熟度により、初級、初段、二段・・・八段と段位が授与される。また剣理、識見の練達により、錬士、教士、範士の称号が授与される。更に、日本全国で年間にさまざまな居合道大会が開催されている。日頃の稽古で練った技を人前で披露し、確かな目を持った高段者にゆだねて技の錬度を判定してもらおう等、居合道修行者にとって試合はさまざまなプラスをもたらしてくれる。



全日本剣道演武大会で演舞する筆者（平成26年）

代表的な大会は毎年五月に行われる全日本剣道演武大会がある。平成二十六年には一〇八回を数え、明治からの伝統を引き継ぐ大会であり京都平安神宮の武徳殿で剣道、居合道、杖道などが演武される。

「居合道とは」居合とは刀身が鞘に納まっていてまだ抜かれていない状況で自分に向

けられた不意の斬撃、刺突に応じる、もしくは相手の機先を制して鞘離れの一刀を放つといった技法を根幹とした武道である。



全日本剣道演武大会風景（平成26年）

剣道、柔道、空手などの武道の修練は、相手が必要としそれぞれ「型」は持っているが、主流は自由組手であり、勝敗の決着がはっきりしている。その点居合道は武道として「型」を重視し、適切なスペースがあれば納得いくまで自由に修練することができ、すなわち居合道は①年齢性別を問わず、②型稽古であるため、独りで何処でも何時でも修練でき、③古来伝承の武道として奥行きが深い極みがあり、④心身の健全性を維持、発展させる「生涯修練」のできる武道である。

「竹刀と日本刀」

剣道と居合道の違いをよく人に聞かれるが、決定的な違いは「打つ」か「切る」かである。

剣道では竹刀、居合道では日本刀を使用している。居合道における日本刀の材質は鉄で、真剣は和鉄を用いて古来の日本刀製法に基づいて製錬されて作られるもので、峰の方を厚く刃の方を薄くし、そりを付け、武器として優れた特性を持っている。剣道における竹刀は、四枚のまっすぐな竹を組んだもので安全に打つことができる。

居合道は仮想敵を設定し、日本刀での攻防を想定しながら勝つための

業を修練する。剣道は防具をつけ竹刀を使い、面、小手、胴、突き定められた打突部位を狙っての攻防を展開する。「切る」と「打つ」、「刀」と「竹刀」、目的も道具も違うので、そこに見られる技術は全く別物であるはず。「打つ」は対象をとらえたところが終点で、「切る」は対象をとらえたところが出発点になるところに違いがある。居合道は打つ技術より、切る技術の把握が必要になる。また刀の持ち方も切れる部分「物打ち」と言われ、「切っ先三寸」とか「刀身の先端から三分の一あたり」とか言われている。

「物打ち」が敵に当たってから、刀の柄を両手で絞り込んでいくことが大切である。古畳表を使って真剣切りを試してみた。たかが畳表を丸めたものと安易な気持ちで振り下ろした途端、刃筋が不安定のため刀が畳表の中に途中でとまってしまい、抜くこともできなくて立ち往生したり、間合いを取り過ぎて空振りして、自分の足指を切りつけたり、両手の握りが弱いため刀がはじかれて飛ばされたり、刀を曲げてしまったりする等、自分の刀から身を守ることをまず習得することが必要である。問合、物打ち、手の内、振り下ろす角度を、とつさの時でも保持できるように鍛錬が必要である。

「居合道の歴史」

居合の起源は古く奈良朝あるいは平安時代初期にその芽生えがあるとされている。しかし武術流租録などによると、林崎甚助重信（一五四九生）を抜刀術の始祖としている。

林崎の流れから、夢双直伝英信流、夢想神伝流、という現在の居合道の中心をなす流派が生まれ、田宮流、関口流なども派生している。また伯耆流、新隠流、関口流、水鷗流、無外流、田宮流など現在引き継がれて各流派にも自らの業に磨きをかけ、後世に伝える



「夢想神伝流」を演武する筆者（平成25年関東甲信越居合道大会）

てきた偉大な先人たちがいた。昭和四十四年には、各流派の共通技、特長を取り入れ、全日本剣道連盟居合が制定された。現在では試合、審査は全日本剣道連盟居合が主体になって実施されている。それによって居合は少年、少女、中年など、かつては考えられなかったほど幅広い層にひろがっていった。

「生涯武道について」

今や人生八十年時代において、生涯を通じて健康で充実した人生を送ることは、個人としても社会としても避けて通れない課題である。一生涯成長をつづけられる武道は、この要求に最適な身体運動と考えられる。

武道の実情を調べてみた。平成二十六年三月に行われた剣道八段昇段審査の受審者は一、〇一六名、そのうち七十歳以上が九六名、六十歳以上四一五名、五十歳以上四〇七名が参加した。

以上からわかるように居合道より激しく闘う剣道でさえ、八段受審者の半数以上が六十歳以上の剣士たちである。これは武道は生涯学習に適していることの証明といえるだろう。これからも居合道を生涯の友として自分を磨いていきたいと思う。

高橋 昌也氏 連絡先

〒311-0111 那珂市後台 3124-6
電話 029-298-6821
メール: fwkn7097@mb.infoweb.ne.jp

リレー随筆 (50)

過ぎし栄枯盛衰を想う

松井 千里

私は昭和 11 年入社し、今年 96 歳になりました。青壮年時代の 54 年間、一貫して合成樹脂製造加工部門の業務に服しましたので日本の合成樹脂業界の黎明期、発展期に幾多の会社の変遷を見聞しました。



米寿を迎えてから新聞・雑誌のスクラップ作りに励んでおりますが、最近のニュースでかつて日本一の小売業といわれたスーパーの「ダイエー」が破綻し、会社名が消滅するとのことで大変驚いた次第です。また社内報で日立電線(株)が昭和 31 年に独立した時、同時に独立した日立金属(株)に合併され、平成 25 年に社名が消滅したこともわかり驚愕しました。そこで私は往年勤務した日立合成樹脂「モールド部門」が日本屈指の大成形工場を擁しながら経営不振で平成 16 年閉鎖したことを想起し、企業の栄枯盛衰を反省してみた次第です。

古くから栄枯盛衰が繰り返されてきたのは広義の人間の欲望と油断大敵に起因すると思われまふ。その結果として悪い例には「驕る平家は久しからず」「生者必滅」などの運命論的論及がなされ、消滅型栄枯盛衰と分類しました。また当事者の資質、才能、努力によって「禍福はあざなえる縄の如し」「人事万事塞翁が馬」の諺のように再興復帰可能型の栄枯盛衰もあります。

「ダイエー」の破滅は朝日新聞によると小さな街の小

売業者-中内 功氏が「主婦の店-ダイエー」を昭和 32 年に開設し、才幹、才覚と超ワンマン的活動で 15 年目に三越百貨店の売上高を超え、23 年目に売上高 1 兆円を突破し、日本一の小売業といわれたそうであります。しかしその前後より、プロ野球や本業以外の分野にも注力して業容の拡大を推進しているうちに環境が変わって平成 10 年より赤字経営になり以後凋落の一途を辿り、ついに経営上の同業者「イオン」の傘下に入り、平成 27 年には社名が消滅するといわれていて、創業以来 58 年でまことに侘しく感じられます。後継者に恵まれなかったので「ダイエー」は消滅型栄枯盛衰の近年最大例であろうと思います。



自宅で新聞・雑誌のスクラップ作りに励まれる筆者(96歳)

日立電線問題やモールド部門の論説は現状では問題があると思っておりますので省略しました。ただ生い立ちから消滅するまでの期間を略記します。

日立電線は、小平主事(後に社長)が倉田主税係員(後に第2代社長)に生産化を指示して日立電線(株)が社名消滅するまで 95 年、モールドは高尾工場長がベークライトのサンプルを入手して検討してから工場閉鎖するまで 72 年間でした。共に再興復帰可能型の栄枯盛衰グループに属せるようになって欲しいと思います。

同好会行事に参加して

「料理」

小野瀬 秀夫



料理教室に入会して、間もなく 1 年になる。私の料理には少しだけ馴染みがある。約 15 年前柏崎で、3 年間の単身生活で自炊し自分が決めた材料で、勝手気ままに料理を作り、一人で食べていた。本格的な料理の勉強をしたく、この教室に入会した。月 1 回の参加だが勉強になる。

新たに高橋先生を迎え、料理は、和食、洋食、中華風とデザート作りです。参考までに、料理のレシピを紹介すると、1 品目はさんまの蒲焼丼、2 品目は大根と帆立のサラダ、3 品目のデザートはケーキで、たくさん作りお土産として持ち帰り、家族からは大変喜ばれた。

暑気払いと忘年会は盛大に開き、二班に分かれての蕎麦打ち(金砂郷の秋そば粉)、山形風芋煮づくり、「キンピラ」の出来栄はバッチリ、特に芋煮などはおかわり、おかわりの連発で、好評を博した。

今後、腕を磨きながら、家庭では一日一食ぐらいの食事は「俺が作る」を目標にして!!

「勝田 PC」

加藤 格司



日立社友クラブの茨城支部は“パソコン教室花盛り”です。つい先日、日立での PC 基礎講座に投稿したら今度は勝田 PC 教室からの依頼がきた。

その時にも書きましたが、勝田 PC は、私の PC 勉強の発祥地です。それは、既に 20 年近くも講師を務めている同窓同期の渡部喜久雄君から勧められたのがき

かけです。

当時は勝田駅の近くの何処かの組合のオンボロ建屋を借りての講義でした。今は、ワークプラザ勝田と云う PC を 12 台程備えた立派な教室で何時も満杯な状態の講義です。そこで味を占めて、日立地区の PC 基礎講座を受けるようになってから、冒頭に記しました様に、次から次へと新たな講座を受ける様になり、今では基礎講座、シニア PC、専門講座と併せて 4 講座にお世話になっています。そんな私の PC を楽しむ発祥の地が“勝田パソコン教室”です。



「シニア PC」

須江 二郎

シニア PC には 1 年ほど前から参加しています。年配の方が多く参加していて講師の方々がゆっくりと丁寧に説明をさせていただきますから、目、耳などが弱くなって不自由していても、受講者の立場にたった講座の進め方をしていただくので大変ありがたいと思います。

ワード、エクセルなどで、文章、表計算などの今まで知らないでいた簡単操作などを、解り易く実際の PC 操作で指導していただくので参考になっています。

特に最近の IT 関係の進歩は著しくてなかなかついて行けません。普段自宅で PC 操作をしているとつまづいてどうにも前に進めない時があります。

このような時に“PC 何でも相談”を活用できます。自宅で PC を前に途方に暮れていたことが、見事に解決していただくことによってまた次に挑戦する気持ちが出てきます。今では PC 難問解決のなくてはならない講座です。

同好会の行事ご案内（2月～4月）

1. 第63回 研修会

【首都圏外郭放水路と野田市近代化産業遺産見学】

春日部市にある首都圏外郭放水路(巨大な地下調圧水槽、ミュージアム龍Q館)と、キッコーマンで知られる野田市の近代化産業遺産(郷土博物館、他)の見学会を実施します。皆様の参加をお待ち致しております。

- ・開催日：平成 27 年 3 月 27 日(金)
- ・集 合：大甕駅前(常陽銀行大甕支店前) 7:00
日立南ドライブイン 7:10
- ・帰着時間：18:00 頃の予定
- ・会 費：5,500 円予定(昼食代、他)
- ・募集人員：先着 40 名
- ・申込締切：2 月 15 日(日)
- ・申 込 先：石田 和夫
Tel/Fax：0294-34-0209
E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

2. 第60回 歩こう会

【日立多賀の桜花めぐり】

常陸多賀駅を基点にして、日立市多賀地区の桜を觀賞しつつ、桜川上流から河口の要害まで桜をメインに普段気付かない付近の桜を再発見しながら歩きます。

- ・開催日：平成 27 年 4 月 9 日(木)
雨天の場合は 4 月 16 日(木)
- ・集 合：常陸多賀駅 スタート 10:15
(JR 上り 10:09 着、下り 10:05 着)
- ・コ ー ス：常陸多賀駅→駅前通り→大久保小学校
→とざわ児童公園→桜川桜公園→多賀中学校
→さくら通り→要害クラブ(昼食)→常陸多賀駅
14:00 着解散 総距離約 6.8km、平坦地
- ・持 参 品：弁当、飲物、雨具等
- ・参加会費：200 円(非会員はプラス 300 円)
- ・申込締切：平成 27 年 4 月 2 日(木)
- ・申 込 先：須江 二郎
Tel/Fax：0294-53-5901
E-mail：j-sue@nifty.com

3. 定例行事予定一覧（開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡致します。）

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場 所	時間	備 考
		2 月	3 月	4 月			
野鳥自然観察グループ	藤原延弘 0294-34-4039 ntit.fjwr@nifty.com	16(月)			潤 沼	9:00～	参加費:¥300/回 原則雨天中止
			16(月)		高戸海岸	9:00～	
				27(月)	水沼ダム	9:00～	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	11(水)	11(水) 大会	8(水)	同好会本部	10:00～ (大会 9:30～)	参加費:¥100/回 大会:¥1000
	25(水)	25(水)	22(水)				
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	19(木)	19(木)	16(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00～	参加費:¥200/回 大会:¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	9(月)	9(月)	13(月)	明治商会	10:00～	参加費:¥1700/回
		23(月)	23(月)	27(月)			
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	4、18、 25(水)	4、11、 18(水)	1、8、 15(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	2(月)	2(月)	6(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	6(金)	6(金)	3(金)	大久保交流センター	9:00～ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	3(火)	3(火)	7(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	基礎講座 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	10(火)	10(火)	14(火)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	24(火)	24(火)	28(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費:¥700/回
	シニアパソコン 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	16(月)	16(月)	20(月)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	PSE13 講座 Excel マクロ講座 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	20(金)	20(金)	17(金)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
		26(木)	26(木)	23(木)	同好会本部	10:00～ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む

訃 報 苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

千葉 敬夫	平成 25 年 07 月 6 日	享年 81 歳
加茂 友一	平成 26 年 03 月 11 日	享年 69 歳
遠藤 正男	平成 26 年 05 月 16 日	享年 92 歳
滑川 京一	平成 26 年 11 月 26 日	享年 90 歳
細川 靖	平成 26 年 12 月 17 日	享年 82 歳
竹盛 建而	平成 26 年 12 月 17 日	享年 74 歳

編集後記 会員の皆様、あけましておめでとうございます。会員投稿、高橋さんの「居合道 20 年」のお話に魅せられると共に、道を極めるに、開始年齢を気にすることはないようです。リレー随筆、松井さんの「栄枯盛衰を想う」では、成功体験固執に反省あるいは、脱却に苦勞された会員諸氏も多いと思います。本年も研修会、同好会行事などに奮ってご参加ください。 **長島重和**